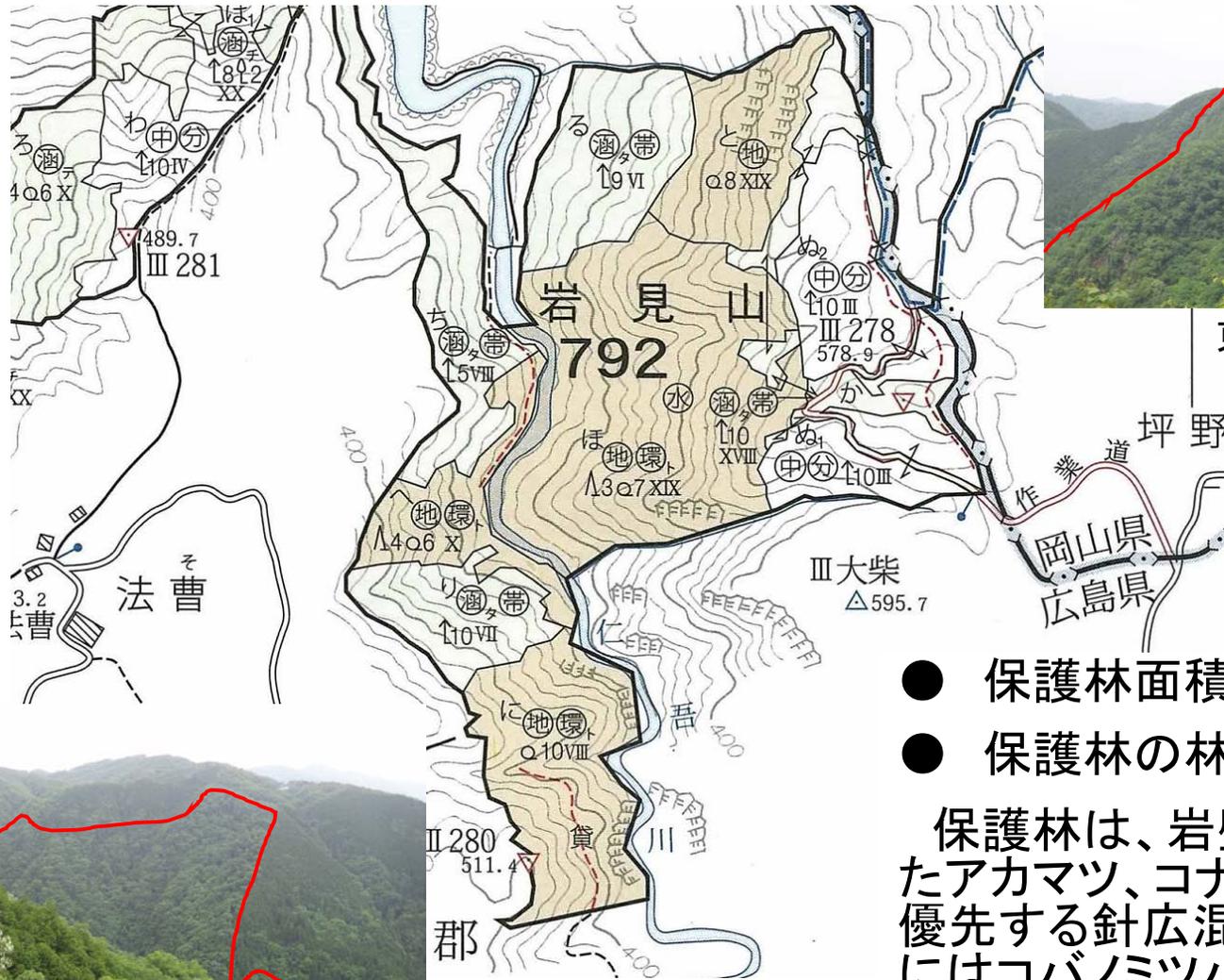


岩見山希少個体群保護林の取扱いについて



岩見山希少個体群保護林の概要



東側区域の遠景

- 保護林面積 : 29.64ha
- 保護林の林況

保護林は、岩壁地形に成立したアカマツ、コナラ、ソヨゴ等が優先する針広混交林で、下層にはコバノミツバツツジ、アセビ、ヤマツツジが生育する林分となっている。



西側区域の遠景

平成29年度保護林管理委員会（H29.10.25） における主な意見

- ・ 植物分類地理学的に非常に特異な阿哲地域にあたることから、この地方に特有の石灰岩上に生育する植物があるのではないか。
- ・ 希少種の個体が少ないとしても、岩石地であることから、例えば、天然分布の分かっていないコナラ、アベマキに関する情報を得る貴重な場所と考えられないか。



まず、阿哲地域の石灰岩地に特有な植物を確認するため、
現地の植生、地質、傾斜度などに関する調査を実施

阿哲地域とは

植物区域としての阿哲地域

中国地方の山陽側で、岡山県西部と広島県東部の石灰岩地帯の多い小地域



阿哲地域の代表的な植物群

キビヒトリシズカ
シロヤマブキ
ショウコウミズキ
アテツマンサク

ナツアサドリ
チョウセンヤマツツジ
ヤマトレンギョウ
チョウジガマズミ

イワツクバネウツギ
ナガバヤクシソウ
アオイカズラ

調査の概要

<概況調査>

1. 実施日:平成30年5月31日
2. 参加者:鳥取大学 大住教授
兵庫県立大学 藤木准教授
近畿中国森林管理局 計画保全部長ほか6名

3. 調査の概要

保護林内の林況が異なる2地点(西側区域の尾根部、東側斜区域の露岩部)において植生を中心に現地の概況を調査。

4. 調査結果

目的としていた特有な種は確認できず
イワシデ、ゲンカイツツジ、イワヒバを確認



イワシデ



ゲンカイツツジ



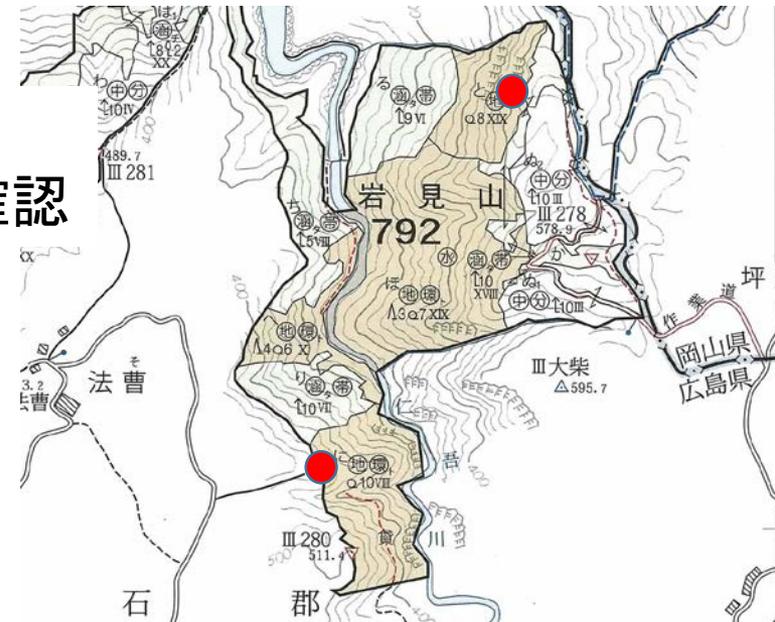
イワヒバ



西側区域の尾根部



東側区域の露岩部



調査の概要

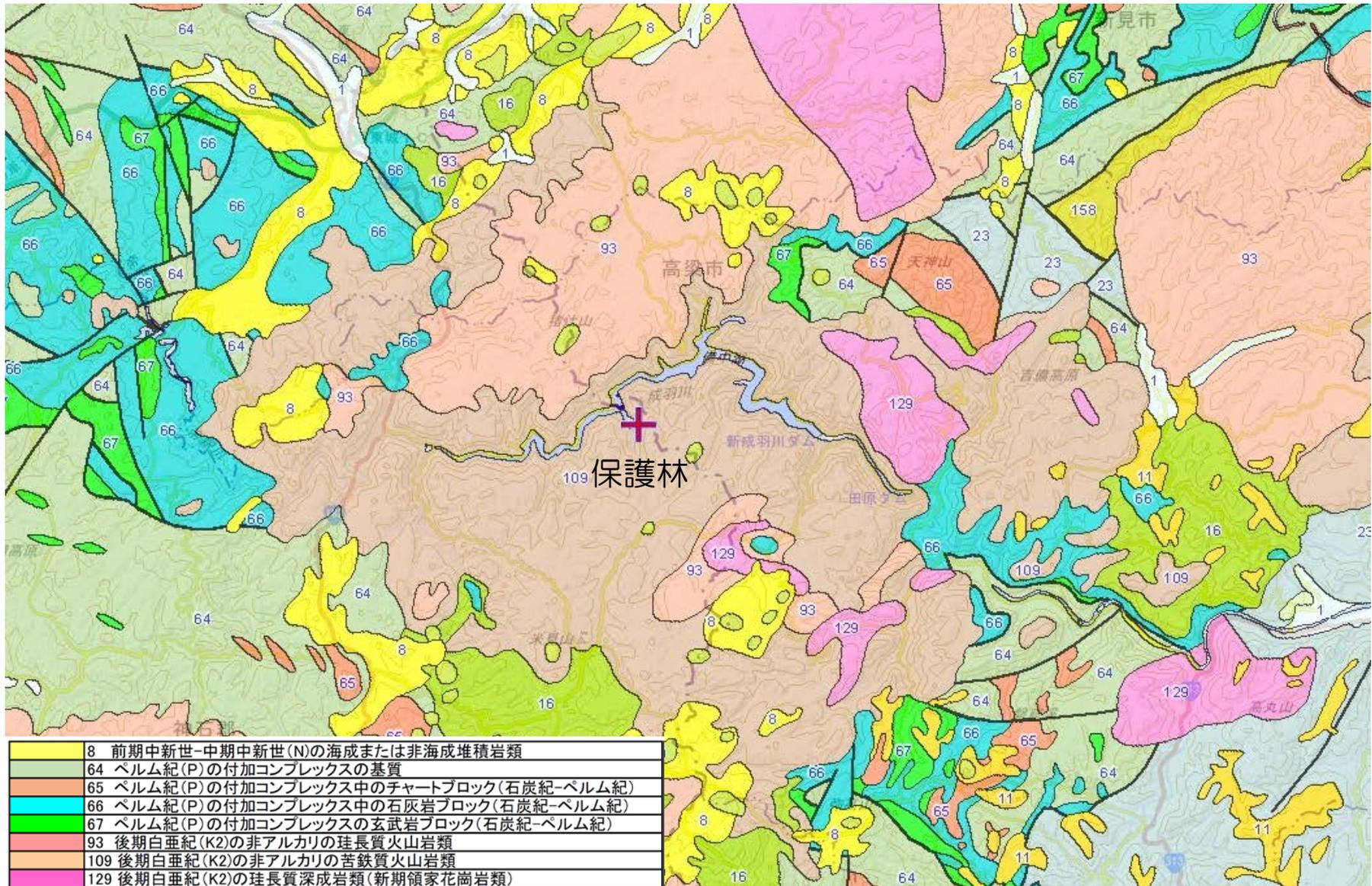
< 詳細調査 >

1. 実施日 : 平成30年9月12日(水)
2. 参加者 : 植物専門家 埜田 宏氏(元(独)森林総合研究所四国支所)
近畿中国森林管理局 計画課長ほか4名

3. 調査の概要

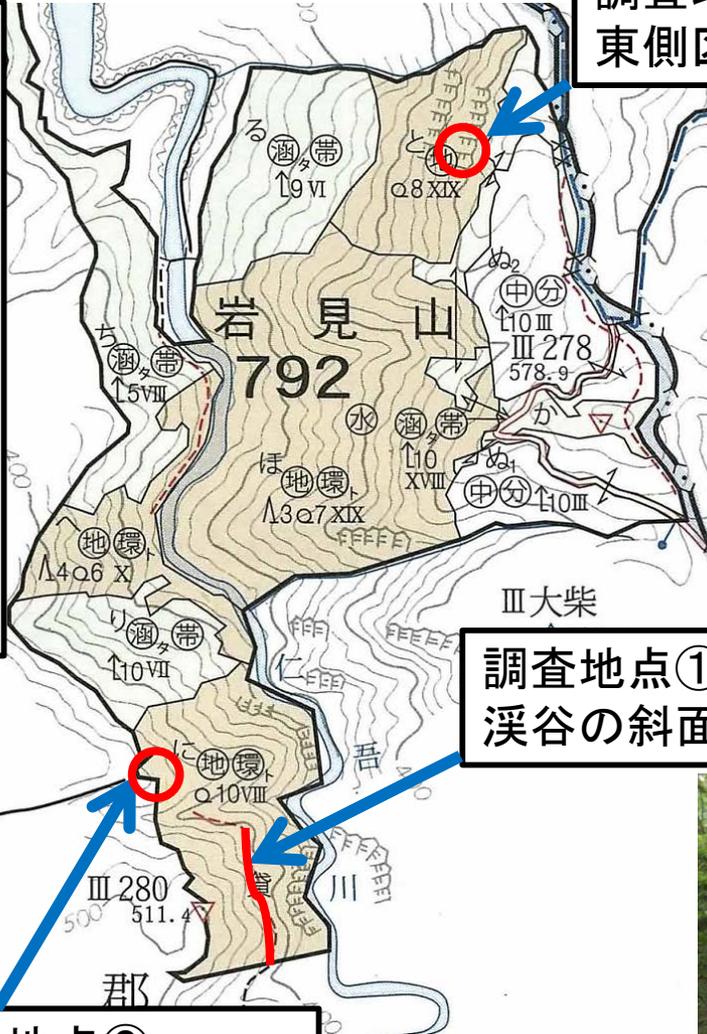
保護林内の2箇所(西側区域の露岩部、東側区域の尾根部)と保護林の隣接箇所(ヒノキ人工林の林縁部)において植生、地質、傾斜度等を調査。

現地の地質条件



現地調査箇所

調査地点③
東側区域の岩角地



調査地点①
溪谷の斜面下部(ヒノキ人工林)



調査地点②
西側区域の尾根部

- ①林縁
延長約百メートルの区間で木本類を中心に歩道脇に出現する種を確認
- ②尾根部
約五メートル四方の範囲において木本類を中心に出現種を確認
- ③露岩部
露岩部の歩行可能な箇所を延長約30メートル踏査し木本類を中心に出現種を確認



確認された植生

調査箇所①：溪谷の斜面下部（ヒノキ人工林の林縁）

標高350～360mの自然林

溪谷に面した斜面のヒノキ植林で一部が自然林

ヒノキ林の林縁で下記の植物種を確認

高木性
木本

ウラジログシ、ナラガシワ、カヤ、ネムノキ、ケヤキ、チドリノキ、イタヤカエデ、ケグワ(?), モウソウチク、アワブキ

低木

ヤマブキ、アブラチャン、アキグミ、ヤブムラサキ、ダンコウバイ、リョウブ、ヤブツバキ、キブシ、ミツバアケビ、タラノキ、ヤマツツジ、コバノガマズミ、シロヤマブキ(?), ネジキ、ハナイカダ、イヌツゲ、ヤブサンザシ、イボタノキ、イヌガヤ、シロダモ、ウリノキ、ミヤマガマズミ、コガクウツギ

草本
シダ類

ヤブラン、オモト、キツタ、ヤブコウジ、ヒトリシズカ、マルバマンネングサ、ジュウモンジシダ、クジャクシダ、コイカリソウ、アキカラマツ、オオツツラフジ、シシガシラ、チヂミザサ、ヤマルリソウ、ミヤマフユイチゴ、シュウブンソウ

溪谷の斜面下部（ヒノキ人工林の林縁） で確認された植物種

	科名	植物(等)名	平成29年6月調査	平成30年9月調査	
針葉樹	イヌガヤ科	イヌガヤ	○		
	イチイ科	カヤ	○		
			2種		
広葉樹	モクセイ科	アオダモ	○		
	モチノキ科	アオハダ	○		
	トウダイグサ科	アカメガシワ	○		
		グミ科	アキグミ		○
		クスノキ科	アブラチャン		○
		アワブキ科	アワブキ		○
		モクセイ科	イボタノキ		○
		イチイ科	イヌガヤ	○	○
		モチノキ科	イヌツゲ		○
		クワ科	イヌビワ	○	
		ムクロジ科	イタヤカエデ		○
		ブナ科	ウラジロガシ		○
		ヒルギ科	ウリノキ	○	○
		エゴノキ科	オオバアサガラ	○	
		カエデ科	オオモミジ	○	
		カツラ科	カツラ	○	
		イチイ科	カヤ		○
		キブシ科	キブシ		○
		クワ科	ケグワ(?)		○
		ニレ科	ケヤキ		○
		アジサイ科	コガクウツギ		○
		ブナ科	コナラ	○	
		スイカズラ科	コバノガマズミ		○
		クルミ科	サワグルミ	○	
		ミカン科	サンショウ	○	
		クスノキ科	シロダモ	○	○
		バラ科	シロヤマブキ(?)		○
		シナノキ科	シナノキ	○	
		トウダイグサ科	シラキ	○	
		ウコギ科	タロノキ		○
		クスノキ科	ダンコウバイ		○
		ムクロジ科	チドリノキ		○
		ブナ科	ナラガシワ		○
	ツツジ科	ネジキ		○	
	マメ科	ネムノキ		○	
	ミズキ科	ハナイカダ		○	
	アケビ科	ミツバアケビ		○	
	レンブクソウ科	ミヤマガマズミ		○	
	イネ科	モウソウチク		○	
	スグリ科	ヤブサンザシ		○	
	ツバキ科	ヤブツバキ		○	
	クスノキ科	ヤブニッケイ	○		
	シソ科	ヤブムラサキ		○	
	アワブキ科	ヤマビワ	○		
	バラ科	ヤマブキ		○	
	ツツジ科	ヤマツツジ		○	
	リョウブ科	リョウブ	○	○	
			18種	33種	

確認された植生

調査箇所②：西側区域の尾根部

東向き、急斜面の尾根部、標高480m

広島県内に広く見られるせき悪地で、優占していたアカマツが枯れ、広葉樹やネズミサシが多くなったもの

当該地ではタカノツメが多い

高木層

疎らなアカマツ、クリ、アベマキ、コナラ等

亜高木層

コナラ、リョウブ、コシアブラ、タカノツメ、クリ、ネズミサシ、ソヨゴ、アカシデ、オオモミジ等
高木層と合わせ、ほぼ鬱閉状態

低木層

林縁部にネジキ、コバノガマズミ、ヤマツツジ、コバノミツバツツジ、イヌツゲ、ウツギ、ヌルデ等ママコナが生育

草本層

ママコナが生育

西側区域の尾根部で確認された植物種

	科名	植物(等)名	平成29年6月調査	平成30年9月調査
針葉樹	マツ科	アカマツ		○
	ヒノキ科	ネズミサシ	○	○
	ヒノキ科	ヒノキ	○	○
			2種	3種
広葉樹	カバノキ科	アカシデ		○
	トウダイグサ科	アカメガシワ		○
	ツツジ科	アセビ	○	
	ブナ科	アベマキ	○	
	ブナ科	アラカシ	○	○
	バラ科	イブキシモツケ	○	○
	カエデ科	イロハモミジ	○	
	カバノキ科	イワシデ(コシデ)	○	
	ユキノシタ科	ウツギ	○	
	バラ科	ウラジロノキ	○	
	バラ科	カスミザクラ	○	
	スイカズラ科	ガマズミ	○	
	ジンチョウゲ科	キガンピ		○
	ツツジ科	ゲンガイツツジ		○
	アジサイ科	コガクウツギ		○
	ブナ科	コナラ		○
	ツツジ科	サイゴクミツバツツジ	○	
	ミカン科	サンショウ	○	
	モチノキ科	ソヨゴ	○	○
	ウコギ科	タカノツメ		○
	ツツジ科	ナツハゼ	○	○
	ツツジ科	ネジキ	○	○
	バラ科	ヤマイバラ		○
ウルシ科	ヤマウルシ	○		
ツツジ科	ヤマツツジ		○	
リョウブ科	リョウブ	○		
			17種	14種

確認された植生

調査箇所③：東側区域の岩角地

魚切溪谷に面した露岩の急傾斜地、標高510m、西向き崖地

高木層

アカマツ(マツ枯れ被害の残存木)

亜高木層

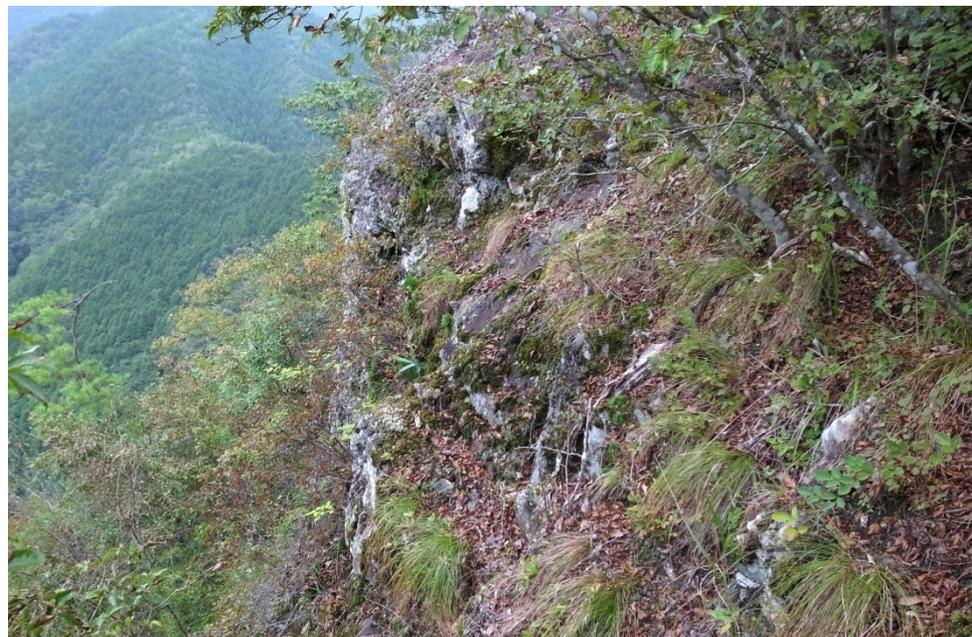
コナラ、ヒノキ、アカシデ、ソヨゴ、タカノツメ、ネジキ等の落葉広葉樹に
ネズミサシが混生

低木層

キガンピ、ゲンカイツツジ、
ヤマツツジ、コガクウツギ、
ナツハゼ、イブキシモツケ、
アカメガシワ、ヤマイバラ等
の落葉広葉樹が群生、少量
のアラカシが混生
露岩の割れ目にイブキシモ
ツケが目立つ

草本層

露岩の周囲にヤマツツジ等
岩壁上にイワヒバが多い



東側区域の露岩部で確認された植物種

	科名	植物(等)名	平成29年6月調査	平成30年9月調査
針葉樹	マツ科	アカマツ	○	○
	ヒノキ科	ネズミサシ	○	○
			2種	2種
広葉樹	モクセイ科	アオダモ	○	
	カバノキ科	アカシデ		○
	トウダイグサ科	アカメガシワ	○	
	ツツジ科	アセビ	○	
	ブナ科	アベマキ	○	○
	ブナ科	アラカシ	○	
	モチノキ科	イヌツゲ		○
	バラ科	イブキシモツケ	○	
	カエデ科	イロハモミジ	○	
	カバノキ科	イワシデ(コシデ)	○	
	ユキノシタ科	ウツギ		○
	ブナ科	ウラジロガシ	○	
	バラ科	ウラジロノキ	○	
	カエデ科	ウリカエデ	○	
	カエデ科	オオモミジ		○
	ブナ科	カシワ	○	
	スイカズラ科	ガマズミ	○	
	バラ科	カマツカ	○	
	ブナ科	クリ		○
	ブナ科	コナラ	○	○
	ウコギ科	コシアブラ		○
	スイカズラ科	コバノガマズミ	○	○
	ツツジ科	コバノミツバツツジ		○
	ツツジ科	サイゴクミツバツツジ	○	
	ブナ科	シラカシ	○	
	モチノキ科	ソヨゴ	○	○
	ウコギ科	タカノツメ		○
	クスノキ科	ダンコウバイ	○	
	バラ科	ナガバモミジバイチゴ	○	
	ツツジ科	ナツハゼ	○	
ウルシ科	ヌルデ		○	
ツツジ科	ネジキ	○	○	
ニシキギ科	マユミ	○		
ウルシ科	ヤマウルシ	○		
ウルシ科	ヤマハゼ	○		
ツツジ科	ヤマツツジ	○	○	
リョウブ科	リョウブ	○	○	
			28種	16種

岩壁にイブキシモツケ、イワヒバが生育



イブキシモツケ



調査の結果

- ・ 阿哲地域の石灰岩地に特有な植生としての保護林設定は不適當
- ・ 一方、急傾斜地の岩石地であるという特性から、この地域の特色とされている日本・ウスリー要素の植物群の特徴が色濃く現れている可能性



今後の検討

- ・ 文献調査 …… 地史、植物地理学に関する論文により地域の成り立ち等をさらに確認
- ・ 植生調査 …… 草本も含めた詳細調査の方法を検討